②種目名：ラン＆キャッチ

（１）　指導意図

　　スカイリングを１人がスタートラインから投げ、ペアのもう１人が、スタートラインから走って地面に落下する前にキャッチする。ボールを投げるときとは違い、ペアの相手がキャッチしやすいようにふんわりと投げなければならないなど工夫をしなければならないことがある。

そのため、投力を高めるだけでなく、巧緻性も養うことができる。さらには、捕るときには、リングが落ちる前にキャッチしなければならないため、より巧緻性が求められる。すべての児童が用具を投げる活動、捕る活動の両方を経験することで、次の（２）に示した力を身につけられるようにする。

（２）　指導することで身につけられる力

 投力、巧緻性

（３）　運動内容・方法

〇イメージ図（A：投げる、B：走って捕る）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | http://3.bp.blogspot.com/-t3FRnbAsPwY/V6BP6giatRI/AAAAAAAA83o/XaK3L9BpNkUZpVACZRvMTGBprlw7e-raQCLcB/s800/figure_hashiru.pngB |  | http://3.bp.blogspot.com/-t3FRnbAsPwY/V6BP6giatRI/AAAAAAAA83o/XaK3L9BpNkUZpVACZRvMTGBprlw7e-raQCLcB/s800/figure_hashiru.pngB |
| http://3.bp.blogspot.com/-t3FRnbAsPwY/V6BP6giatRI/AAAAAAAA83o/XaK3L9BpNkUZpVACZRvMTGBprlw7e-raQCLcB/s800/figure_hashiru.png | B | http://3.bp.blogspot.com/-t3FRnbAsPwY/V6BP6giatRI/AAAAAAAA83o/XaK3L9BpNkUZpVACZRvMTGBprlw7e-raQCLcB/s800/figure_hashiru.png |  |  |  |  |  |
|  |  |  | B |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

20ｍ

15ｍ

10ｍ

Bの

スタートライン

5ｍ

0ｍ



Aの立ち位置

A

A

A

A

１コース

３コース

４コース

２コース

〇運動の具体的な方法

ルール

・投げる人はスカイリングを投げる。

・捕る人は、スタートラインから走り投げられたリングを落ちる前にキャッチする。

・投げる人と捕る人は交代しながら活動する。

得点

・下記に示した地点でキャッチなどできたら得点となる。

　０～ ５ｍ　 ５点　　　　５～１０ｍ 　１０点　　１０～１５ｍ　１５点

１５～２０ｍ ２０点　　20～2５ｍ 2５点

〇運動の流れ

※AとBのペアで行う。

・Try1（7分）→ミーティング（3分）→Try2（7分）

・Try１は練習とする。練習方法はペアごとに任せる。

・Try２は、７分間投げたり捕ったりし、ペアごとの最高得点の合計をチームの総得点とする。

（４）配慮が必要な児童への手立て

・一回捕った後に落としてしまった場合も得点とする。

・投げ方や取り方がわからない場合は，声をかけて再度取り組ませる。